

令和4年度市民提案協働事業 事業報告書

事業名



- 1 実施団体 和楽倶楽部
- 2 担当課 商工観光課
- 3 実施時期 令和5年2月17日 ~ 3月21日
- 4 参加者 約300名
- 5 実施場所 梅の公園
- 6 事業の目的

行政テーマである「梅まつり期間の吉野梅郷地域を盛り上げるイベントの開催」に合わせて「和楽倶楽部流ともしびフェスティバル in 梅まつり」を開催しました。

和楽倶楽部では毎年「ともしびプロジェクト」というイベントを行ってきました。これは東日本大震災を忘れない、風化させないという思いをもとに自分たちにいつ起こるかわからない「災害」に対しての防災意識を高

いただき他のイベントとも連携することで梅まつりの全体との交流も取れたと思います。塗り絵の展示に関しては梅まつり期間中に長期掲載していただくことによってご家族で会場に訪れた方が多くおられました。また、ステージやワークショップなどに出演された方などの吉野梅郷の梅を見に来られるきっかけになりました。

10 事業の実施内容

○梅まつり期間中のぬりえの展示

2月14日（土）～の梅まつり期間中、塗り絵の展示を行いました。塗り絵は事前に市内の学童クラブの生徒や、青梅市立第五小学校5年生の生徒の皆さん、和楽倶楽部内でも募集しました。塗り絵の題材は「ともしびプロジェクト soy time art」の発起人であり、福岡県で美術家としても活動している方に「青梅のイメージ」というテーマで描いてもらいました。

○ワークショップの開催

- ・紙灯明づくり 毎年和楽倶楽部で「ともしびプロジェクト」で作成してきた紙灯明づくりのワークショップを行いました。参加者の皆さんはとても楽しみながら作業を行っておりました。
- ・シャボン玉ワークショップ
身近にあるものでシャボン玉を作るというワークショップで子どもたちが親と一緒に取り組んでいる姿が多くありました。
- ・塗り絵のワークショップ
塗り絵の展示の作品を当日この場所でも行いました。塗り絵は梅の花の花火がさらに梅の公園にぬりえの花火を咲かせてくれました。
- ・折り紙のワークショップ
ステージの背景画に使用するための梅の花の作品を作っていただきました。その梅の花をステージの背景画に咲かせることでステージ上の演出につなげることができました。
- ・すべてのワークショップを回ってもらった方には和楽倶楽部のオ

オリジナルキャラクターの手作りぬいぐるみのプレゼントをさせていただきます。

○ステージ

ステージの演出として制作の梅の木を置きました。木の制作は吹上子どもクラブにて一緒に作らせていただきました。

また事前に折り紙の梅の花を様々な方に都立青梅総合高校定時制の生徒の皆さん、青梅市立吹上中学校の生徒の皆さん、ステージ演奏をされる皆さんなどさまざまな方に作成していただきました。

演出としてはオープニングではまだまだ少ない梅の花が、エンディングに向かうにつれて満開に近づいていくという演出をしました。

ステージの演出はプロのシンガーソングライターを3名をお呼びし、地域で活動している手作り紙芝居の団体や、シャボン玉アート、お琴の演奏、オリジナルバンドなどのステージ披露、14：46には福島や仙台とリモートでつないで東日本大震災のともに黙祷を行いました。また青梅の福祉キャラクターお～ちゃんにも登場していただくことで子どもも大人も楽しめる企画となりました。

11 実施団体と担当課の事業評価

4 はい 3 どちらかといえば「はい」 2 どちらかといえば「いいえ」 1 いいえ

調査項目	団体	担当課
(1)事前の話合いを十分に行い、役割分担は明確になっていた	3	3
(2)事業に最もふさわしい協働形態が選択された	3	3
(3)協働の役割分担は適切だった	3	3
(4)協働相手は適切だった	4	4
(5)対等な立場での協力関係を築けた	4	4
(6)協働相手の自主性・自立性は尊重された	4	4
(7)事業実施は円滑になされた	4	4
(8)設定した目標が達成された	3	4
(9)協働で行うことにより効果がある事業だった	4	4
(10)今後の課題と改善策をお互いに話し合った	3	3

12 まとめ（今後の課題や改善点など）

・団体側

イベントの実施という貴重な体験をさせていただきました。今後の課題はイベントの運営に関してはタイムキーパーや司会担当やくなどの役割分担や適切な場所での機材の設置（音源をパソコンに取り込んでいたにも関わらず当日作動しないといったハプニングもありました。）をしっかりと行うことでよりスムーズな運営ができたのだと思います。

また、雨天時でも実施できるような取り組みの企画・運営の方法をより具体的にイメージしていくことができれば進行中に悩むことなどが少なかったと思いました。

・担当課側

イベントの実施にあたって、イベント設営場所の確保や実施内容の計画等のすり合わせを適切に行えた。

ただし、雨天時の実施内容・場所については、具体的な方向性を事前に少しでもイメージしておくことが必要であったと感じる。

例えば、施設内でのイベント開催内容・場所など。

13 その他